

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 2月23日更新

事務事業名	有機質肥料促進事業					<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	事業部	課長名	森山 邦彦
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	青木 克憲
	施策の柱	33	経営力の強化・生産品の価格安定			所属班	農政班	(内線)	1175
予算科目	会計一般	款 6	項 1	目 11	事業連番 10290	根拠法令	合志市有機質肥料促進事業補助金交付要項		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
								成果優先度評価結果 : ⑥	
								コスト削減優先度評価結果 : ⑨	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市在住の農家及び営農集団で有機質肥料を使った人に補助。平成15年度から畜産農家の堆肥の流通及び町内(旧西合志町)の地力増進を目的に開始された。家畜排せつ物法の制定により、畜産農家で多くの堆肥が作られるようになった。また、近年、安心・安全な農産物への需要が増加し、堆肥を使用した有機農家が増えてきた。
【業務の流れ】	補助金交付申請受付 → ②交付決定通知 → ③補助金交付
【主な予算費目】	役員費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	平成20年度から、補助率が1/2から2/3へ引き上げられた。・補助申請基準、条例等の見直しが必要ではないか。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
交付申請受付から補助金交付までの一連の業務	申請者からの補助金交付申請受付から補助金決定までの一連事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 申請した農家戸数	戸
→ イ:	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市在住の農家	(単位) 戸
	→ ア: 農家戸数
	→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
堆肥購入経費の負担を軽減できる	(単位) %
	→ ア: 軽減できた農家の割合 (申請件数÷農家戸数) × 100 %
	→ イ: 軽減率 (補助額÷堆肥購入額) × 100 %
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
堆肥購入経費の負担を軽減することから成果指標を「軽減できた農家の割合 (申請件数÷農家戸数)」「軽減率 (補助額÷堆肥購入額)」とした。目標値については、過去3年間の実績を踏まえ軽減できた農家の割合を17%、軽減率を52%とした。	
総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア 戸		107	112	100	112	100	100	100	0	
	イ										
② 対象指標	ア 戸		596	596	596	596	596	596	596	0	
	イ										
③ 成果指標	ア %		17.9	18.8	17	18.8	17	17	17	0	
	イ %		47.5	46	52	55	52	52	52	0	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	4,053	4,058	5,009	5,009	5,009	5,008	5,008	0
		(A) 事業費計	千円	4,053	4,058	5,009	5,009	5,009	5,008	5,008	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	7	2	5	2	2	2	0
延べ業務時間	時間	310	245	300	260	300	300	300	0		
(B) 人件費計	千円	1,235	976	1,195	965	1,195	1,195	1,195	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,288	5,034	6,204	5,974	6,204	6,203	6,203	0		

事務事業名	有機質肥料促進事業	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 申請者数の増加により目標値を達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 堆肥購入補助金の周知徹底や実績値を考慮し設定しており、目標達成の見込みがある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 広報・HP・各種会議等の中で効果的な広報を図るなど、適正な事業推進を行うことで成果向上が望める。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 有機堆肥を使用する農家が増え、申請農家が増えると逆に事業費が増えることもある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 一括申請でおこなっており、これ以上の業務時間の削減は困難である。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 有機質肥料を使用した全ての農家が対象。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 補助金交付事務のため適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

広報・HP・各種会議等の中で広く広報していく中、軽減できた農家の割合も増加している傾向にある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					